



2050年 まちのビジョン

交流を生み、創造性を高める まちごとワークプレイス
 ~どこでも、働く、交わる、くつろげる 企業やワーカーから選ばれるまち~

ターゲットプレイヤー

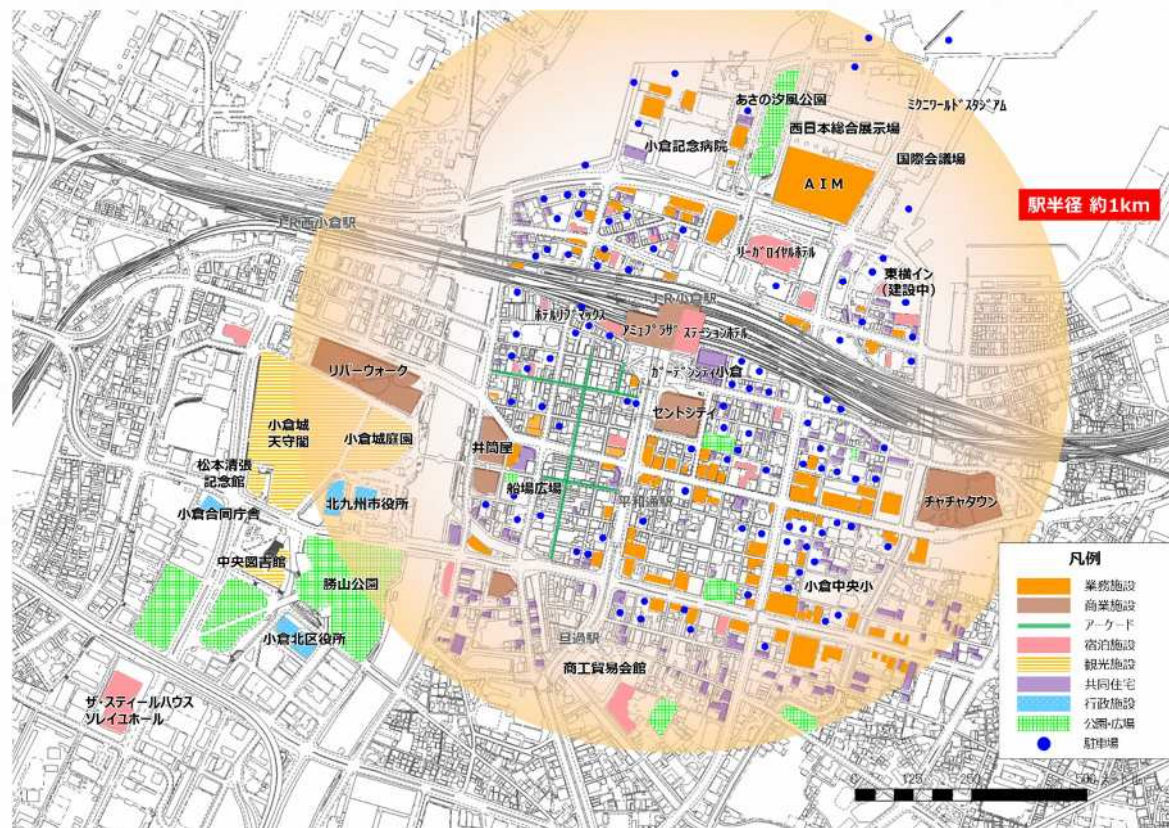


W O R K

- ・クリエイティブ人材
- ・オフィスワーカー
- ・優秀な人材を求める企業

パフォーマンス・活動

- ・屋内・屋外問わず、あらゆる場所で、自由に、快適にはたらく
- ・交流や界隈性のある空間で、新たなビジネスを創出
- ・ワーカーをターゲットにした多種多様な飲食・ショップが出店



まちづくりの方針と取組

01. オフィスでも、アウトドアでも、好きな場所、好きな時間に快適に働ける環境

- ・多様な働き方ができる環境づくり
- ・若者などの働く場づくり
- ・オフィスビルの供給促進

02. くつろげる、リフレッシュできる、リセットできる、自分の時間を過ごせる場

- ・公園・道路・水辺などの魅力向上
- ・芸術・文化に触れる機会の創出

03. 車優先からヒト優先の道路空間へ

- ・安全・安心な道路空間の創出
- ・新しいモビリティサービスの導入
- ・歩行者の安全に配慮した交通システムの導入

04. ウォーカブルな、歩いて楽しいストリート

- ・ストリートの魅力向上

05. 稼げる、表現できる、交流できるステージ、賑わいと出会いの場

- ・公園・道路・水辺などの多様な活用

06. シンボリックな空間

- ・良好な景観の創出
- ・駅周辺の再整備



01. オフィスでも、アウトドアでも、 好きな場所、好きな時間に快適に働ける環境

多様な働き方ができる 環境づくり

- ・公園、道路、店舗など、どこでもインターネットに繋がることができるインフラを導入するなど、多様化する働き方に対応する環境を創出することで、ギグワーカー、ノマドワーカーなどの多種多様なワーカーを呼び込みます。
- ・気軽に使えるコワーキングスペースなど、働く場を設けることで、多様化する働き方にフレキシブルに対応する環境を創出するとともに、新たなビジネス機会を生み出し、ワーカーを呼び込む好循環につなげます。



公共的空間で仕事ができる環境 (PIXTA)

公共的空間への通信機器導入 イメージ
(iStock.com/studiostockart)

若者などの働く場づくり

- ・様々な創業支援策を実施するとともに、多様な企業を誘致することで、若者などの働く機会を提供します。



コワーキングスペース (PIXTA)

オフィスビルの供給促進

- ・耐震性が不十分なオフィスビルの建替えの促進や既存ビルにおける先端デジタル技術の導入など、企業ニーズに対応したスマートビル化を促進します。
- ・オフィスビルの整備にあたっては、ZEBをはじめとする省エネルギー化、スマートエネルギーシステムなどの導入や再生可能エネルギーの利用、緑化の促進などによりゼロカーボンシティの実現を図ります。
- ・ベンチャー企業や外資系、地元企業など、多様な企業を呼び込むことで、働く場を創出します。
- ・テレワークなど多様な働き方に対応したマンション等の立地を促進し、職住近接の働きやすい環境を創出します。



オフィスビル イメージ



まちに開かれたオフィスビル イメージ



02. くつろげる、リフレッシュできる、リセットできる、自分の時間を過ごせる場

公園・道路・水辺などの 魅力向上

- ・公園では、まちなかの緑を確保し、快適に憩える環境を保全するとともに、利用者の多様なニーズに対応した様々な使い方ができる空間を創出します。
- ・道路では、沿道の民間施設を含め、集い、憩い、多様な活動ができる、ゆとりある空間を創出します。
- ・水辺では、まちと一体となった良好な景観を保全するとともに、眺望を活かした憩いの空間を創出します。



快適に憩えるまちなかの公園 (iStock.com/chachama1)



ゆとりのある歩行空間 (iStock.com/Free art director)



まちと一体となった水辺空間 (iStock.com/Nils Versemann)



快適に憩える水辺 (iStock.com/jacquesvanderinteren)

芸術・文化に触れる機会の創出

- ・芸術・文化に気軽に触れ合う機会と交流や賑わいを創出します。



祭りによる交流と賑わい (©北九州市)



ガーデンシネマ イメージ (iStock.com/Vera_Petrulina)



コンサートに触れ合う機会 (iStock.com/Satoshi-K_)



美術に触れ合う機会 (iStock.com/monkeybusinessimages_)



03. 車優先からヒト優先の道路空間へ

安全・安心な道路空間の創出

- ・歩行者と自動車の交通量のバランスを考慮して、道路空間を再編することにより、安全で安心して歩くことができるヒト優先の道路空間を創出します。



ゆとりのある歩行空間 (iStock.com/primeimages_)



ヒト優先の道路空間 (iStock.com/JL Images_)

新しいモビリティサービスの導入

- ・オンデマンド型自動運転車やワンマイルモビリティなどの新たな移動手段の導入やAIやIoT等の先端技術を活用したMaaSなどの新しいモビリティサービスの導入を促進し、多様なニーズに対応します。



輸送ドローン イメージ (iStock.com/aerogondo)



新たな移動手段の導入 イメージ (iStock.com/Jesussanz_)

歩行者の安全に配慮した交通システムの導入

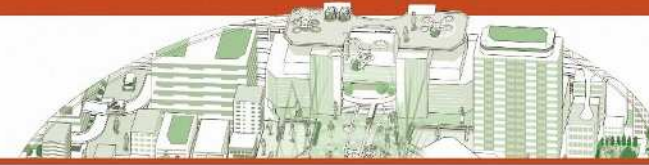
- ・一般車両の通過交通の抑制や駐車場のあり方を見直すとともに、歩行者の安全性、利便性の向上に資する施策（トランジットモールやフリンジパーキング等）の導入を図ります。



歩行者と公共交通のみが通行可能なトランジットモール イメージ



歩行者中心のフルモール イメージ



04. ウォーカブルな、 歩いて楽しいストリート

ストリートの魅力向上

- ・ 道路では、歩行者が安心して快適に通行、滞在できる空間にするとともに、多様な人の多様な用途、使い方により、賑わいのある空間を創出します。
- ・ アートなどの活用により都市空間の魅力向上、都市イメージの刷新を図ります。
- ・ 沿道施設の1階部分と道路を一体的に利用することで、まちに開かれた、くつろぎのある空間を形成し、ストリートの魅力向上を図ります。



歩行者が快適に通行、滞留できる道路空間 (iStock.com/VV Shots)



パブリックアートによる魅力的なストリート (PIXTA)



パブリックアートによる魅力的な都市空間 (iStock.com/Yonguan Dai)



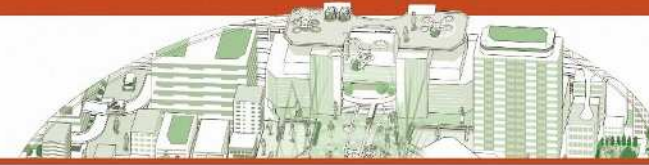
オープンカフェによる開放的な道路空間 (iStock.com/Radiokukka)



ウォールアートによる魅力的な都市空間 (iStock.com/Artaporn Puthikampol)



賑わいのある歩行空間 (iStock.com/VV Shots)



05. 稼げる、表現できる、交流できるステージ、 賑わいと出会いの場

公園・道路・水辺などの多様な活用

- ・多様化する公共空間の利用ニーズに対応する柔軟な運用を図ることで、多種多様な活動を促進し、交流と賑わいを創出します。
- ・多様な便利施設の設置やイベントの開催など、多くの人を呼び込む機会を創出し、まちの活性化を図ります。



便利施設の設置 (iStock.com/NoDerog)



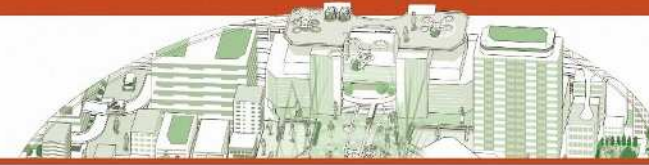
水辺を望むデッキ (iStock.com/Yury Karamanenko)



民間による経済活動 (iStock.com/sundec88)



イベントの開催 (iStock.com/Anna Linda Knoll)



06. シンボリックな空間

良好な景観の創出

- ・ 駅や小倉城、紫川などの周辺では、地域特性に応じた景観の形成や保全を図ることで、良好な都市景観や快適な都市空間を創出し、地域の魅力を発信します。
- ・ 賑わいやおもてなしを演出する夜間景観の魅力向上を図ります。



夜間景観による賑わいの演出



竹あかりによる賑わいの演出



水辺の夜間景観による賑わいの演出

駅周辺の再整備

- ・ 小倉城口及び新幹線口の駅前広場では、近隣施設との移動円滑性を踏まえた歩行者空間や集い、憩う空間を形成し、賑わいと活性化を図ります。
- ・ オフィスビルの建替えや魅力ある沿道景観形成を促進します。
- ・ MICE 機能が集積する新幹線口では、ビジネスイベントやスポーツツーリズムなどの取組を促進することで、集客力向上を図り、更なる活性化につなげます。



駅前広場の歩行者空間の創出
(iStock.com/Fortgens Photography)



魅力ある沿道景観の創出
(iStock.com/Naruto_Japan)



オフィスビルが立ち並ぶ沿道景観
(iStock.com/Masao Taira)



スタジアムでのイベント開催
(iStock.com/WILLSIE)